



どんど焼き



小笠原神社 どんど焼き

1月8日

小笠原神社で毎年行われている行事です。今年も盛大に行われ、多くの方が今年1年の無病息災や家内安全を祈願しました。

12月定例会の結果報告	2~4P
議会の活動報告	5~8P
9名の議員が町政を問う	9~17P
小学校6年生が議会を傍聴	18~19P
町内の頑張っている団体を紹介	20P

委員会審査報告

総務・産業建設・文教厚生常任委員会に付託された主な議案の審査概要を報告します。

総務常任委員会(12月6日)

平成30年度からの指定金融機関を

「株式会社西日本シティ銀行」に決定

みやこ町の公金の収納、支払等の事務を取り扱う金融機関を定めるもの。

Q 本庁・支所の金融機関の配置はどのようになるのか。

A 平成30年度からは株式会社西日本シティ銀行が指定金融機関となり、配置は次のとおりとなる。

	平成29年度まで	平成30年度から
本庁	農協	シティ
豊津支所	農協	シティ
犀川支所	シティ	農協

※農協…福岡京築農業協同組合
シティ…株式会社西日本シティ銀行

総務常任委員会所管の 一般会計補正予算

普通交付税の確定による基金積立額の見直し及び臨時財政対策債などの公債費の利率見直しにより補正するもの。

産業建設常任委員会(12月7日)

農業経営法人化等支援事業に

40万円を補正

意欲のある農業者が本格的な農業経営者へと成長し、更なる経営発展を図ることができるよう、農業経営の法人化等の推進や経営の質の向上を支援するため補正するもの。

Q 国は営農組織の法人化を進めているが、機能しなくなった組織についてのようになっているか。

A 耕作放棄地が拡大することが懸念される。その様なことがないように、営農組織の再編を行い規模拡大に努めたい。



営農組合農機具格納庫

Q 農地の集積集約について一定のマニユアルが必要ではないか。

A マニユアルは作成していないが、農地の集積集約については、一定のルール作りが必要であると考えてるので検討する。

Q 機能しなくなった営農組織の倉庫や機械については、どの様になっているか。

A 規模拡大には、機械は重要である。そういった使用していない機械があれば把握し有効に活用できるよう検討する。

文教厚生常任委員会(12月8日)

公営企業会計を公共下水道事業及び農業集落排水事業に適用するための関連条例を可決

厳しさを増す経営環境を踏まえ、公営企業の経営基盤の強化や財政マネジメントの向上等、さらに的確に取り組みのために適用するもの。

Q 最近マスコミ等で報道されるような排水管の老朽化等の問題はありますか。

A 設備の修繕等はあるが、一部の自治体で報道されているような厳しい施設の老朽化はない。

保育園運営委託料に

4560万8千円を補正

保育士の処遇改善とキャリアアップの仕組みを確保するため町内保育園に支給するため補正するもの。

勝山陶芸館を廃止

平成30年3月31日をもって勝山陶芸館を廃止するもの。

Q 利用団体には説明をしているか。

A 勝山陶芸館の利用団体は1団体である。今後の見通しということで説明をしている。なお、他の陶芸館については、来年度も使用できるが、今後については協議を行う。



廃止される勝山陶芸館の窯

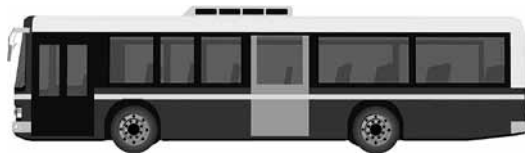
バス運営委託料に200万円を補正
町内の中学生が部活等で活動する際のバスの運行委託料が増加しており、それに対応するため補正するもの。

Q 中学生の部活動の活動状況は、前年と変化があるのか。

A 中体連等の大会の成績が良かったことが一因である。

Q 強くなれば大会出場も増える。想定範囲内ではないのか。

A 平成27年にスクールバスを部活動の送迎に利用する制度をつくった。ようやく成果が出てきたところなのでご理解をお願いします。



国民健康保険事業特別会計

高額療養費に2400万円を補正

治療に高額な薬が使用されるようになったことによる医療費の伸びに対応するため高額療養費保険者負担金を補正するもの。

Q どのような疾患が多いか分析しているか。

A 10月の対象者を見ると様々な病名であり、どの疾患が特に多いという状況ではない。

**介護保険事業特別会計補正予算
電算システム改修委託料に
293万8千円を補正**

利用者負担の見直し等の制度改正に対応するため電算システムを改修のため補正するもの。

Q 3割負担となる所得額はいくらか。

A 年金収入の場合は1人当たり340万円を超えると2割から3割になる。国の推計で3割負担となる方は全体の約3%の見込みである。平成30年の8月から開始予定である。

Q 年金以外に他の収入があった場合は合算するのか。

A 年金収入の場合で回答したが、申告の内容によって収入を所得に換算し合算される。

**町の預貯金(基金)はこれだけ
134億1829万5千円**

主な基金(平成28年度末現在高)

(単位:円)

伊良原ダム周辺地域振興基金	971,308,864
伊良原ダム周辺地域公共施設整備基金	80,963,512
農林業振興基金	166,726,549

お詫びと訂正
議会だより第50号の掲載内容に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
訂正箇所は次のとおり2ページの決算数値です。

平成29年第6回定例会を12月1日から12月15日までの15日間にわたり開催しましたので、その議決結果について報告します。

平成29年第6回定例会議案議決結果及び議員別賛否一覧表

議案名	議員名	肥喜里雄二	吉竹次男	橋本真助	柿野正喜	中山茂樹	小田勝彦	田中勝馬	飯本秀夫	中尾昌廣	金房眞悟	浦山公明	大束英壽	上田重光	中尾文俊	柿野義直	議決結果
専決処分の承認を求めることについて (平成29年度みやこ町一般会計補正予算 (第2号))		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
訴訟事件の和解について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成29年度みやこ町一般会計補正予算 (第3号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町水道事業及び簡易水道事業の 設置等に関する条例の一部を改正する 条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町給水条例の一部を改正する条例 の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町水道企業職員の給与の種類及び 基準に関する条例の一部を改正する条例 の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町保健・福祉・コミュニティセンター の設置及び管理に関する条例の一部を 改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
指定金融機関の指定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成29年度みやこ町一般会計補正予算 (第4号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成29年度みやこ町国民健康保険事業 特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成29年度みやこ町介護保険事業特別 会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議長は、採決に加わらない。○は賛成。



議会の活動を報告します!

文教厚生常任委員会

広島県庄原市、安芸太田町を視察研修 8月3・4日

みやこ町では、ボランティアセンターを豊津地区、勝山地区に開設する計画になっていま

す。そのため、ボランティアセンターをはじめ各種福祉業務を先進的な仕組みにより運営をされている庄原市社会福祉協議会を1日目の研修地としました。

研修会は、社会福祉協議会事務局長より丁寧な説明を受けたのち質疑に入りました。各委員より活発な質問に対して丁寧にわかりやすく答弁を頂きました。また、答弁に対し追跡質問をするなど熱心な議論になり予定時間を延長し研修を終えました。

続いて、2日目の研修地である安芸太田町です。みやこ町では、犀川・勝山・豊津の3図書館を統合する計画となっており、統合する際には、利用者数を減少させない工夫が必要です。そのため、合併時より分館

方式により図書館利用者数を微増させる運営を行っている安芸太田町としたわけです。

図書館長から資料に沿って説明を受けたのち質疑に入りました。各委員の質問には、丁寧に答弁を頂き、ときには合併により公共施設の草刈作業が増えた等、冗談を交えた意見交換でした。

今回、両市町を研修し学んだことを、今後のみやこ町のために生かしたいと思います。



広島県庄原市での研修

議会改革調査特別委員会

京都府精華町を視察研修 8月23日

近年、行政あるいは議会もその活性化に向けて努力をしているところでは、私も議会改革調査特別委員会としては、そうしたことを踏まえ、住民の皆さんの声に応えるべく議会改革を行っています。その一環としてインターネット配信を12月から開始しました。

今回、京都府精華町を視察研修場所を選定したのは、議会改革や活性化において全国町村議会の表彰を受けた市であるからです。その先進的な議会運営手法、通年議会の取り組みや、年間の議会日程等について調査研究したいとの思いからです。

視察研修を終えて感じたことは、やはり意識の違いでした。精華町では、「まずはやってみよう」ということで違法でない限りは、活性化につながると思われることはやって

みる。違法の場合は、法律の改正等を要望するなど積極的でした。また、審議会などの問題についても、いろいろな意見がありました。

私も議員は、今回学んだことを生かし議会基本条例を、この議会改革の最終目的として制定する必要があります。みやこ町独自の「良いこと取りのみやこ町」で、独自のものをつくっていききたいと思いました。



広報特別委員会

町村議会広報研修会に参加

9月29日

町民に「伝える広報」から「伝わる広報」を目指して、その手法を学ぶため全国町村議会議長会主催の広報研修会に広報委員として参加しました。掲載の写真でもわかると思いますが大変多くの関係者が出席していました。なお、余談ですが一度に会場に入りきれないため、北海道・東北・関東地区は前日に開催されたそうです。

研修では、まず、「見やすい、読みやすい、わかりやすい」文章を書くためにはどうすればよいのか。そのための具体的な手法をまじえての説明がありました。いくつかその手法をご紹介しますと、
 ・一文は65字以内で書く。
 ・中学校卒業レベルの日本語力でわかる文章を書く。
 など、ほとんどが高度な内容ではなかった気がします。たしかに聞いてしまえば、そんなことかと思われる内容かもしれませんが。しかし、私はそのようなことは意識せ



ず書いてきたような気がします。その他にも、「ターゲットを具体的に描く」や「業務改善・イノベーション」などの、すぐに実行できない内容もありました。今回、研修に参加して大変わかりやすい内容で勉強になりました。今後の広報紙作成の参考にして、多くの皆さんに親しまれる広報紙づくりに努めたいと思います。

伊良原ダム対策特別委員会

鹿児島県鶴田ダムを視察研修

10月2日

鶴田ダムは、九州で2番目に長い川内川に建設された、九州で一番高い重力式コンクリートダムです。洪水被害を軽減し、クリーンエネルギーの水力発電で地域の暮らしを支えています。

こんなに大きなダムでも、すべての自然災害は防げませんでした。平成18年7月の記録的な豪雨により、川内川流域はおおきな洪水被害を受けました。

今後起こりうる洪水被害を軽減するため、鶴田ダムでは洪水調節容量を現在の最大7万5千 m^3 から最大9万8千 m^3 に増やす再開発事業に着手していました。工期は平成19年度から平成29年度までのことです。もうすぐ完成です。そのダムを視察して、あらためて日本の技術の素晴らしさに驚かされました。

ダム周辺施設としては、ヘラブナ岬公園・ホタル船・ドラゴンボートレース・もみじまつり・展望公



園・多目的広場など多くの遊び場があり、多くの人々で賑わっています。また、ダム再開発事業見学者も平成28年1月には1万人を達成したそうです。伊良原ダムも完成間近となりました。今回の研修を生かして、多くのお客様に来ていただける環境整備に努めていきたいと思えます。

総務常任委員会

熊本県益城町を視察研修

10月24日

昨年の熊本地震の発生から一年以上が過ぎ、地震直後の混乱から随分落ち着きを取り戻した熊本県益城町は、少しずつ復興が進んでいるようです。

それでも、倒壊家屋の跡地は、未だ多くが更地のままで、行政の中心となる役場も、本来の庁舎とは別な場所に仮庁舎を建てて業務を行っています。

今回の視察では、地震直後からこれまでの行政及び議会の対応を益城町の稲田議会議長と堀部議会議事局長から詳細にわたってご説明をいただきました。

まず、直後の被害の内容としては、家屋の6割が全半壊。公共施設等への避難者数は、把握できている人数で約1万6千人。役場も被害を受け、役場の機能が完全に停止等々、これまでの想定をはるかに超える被害だったそうです。

「行政機能が回復しない中で、あらゆる状況に応じた対応をしなければなら

ねばならない。特に避難所は様々な対応を迫られる。」との説明を聞き、災害発生時の対応の困難さを痛感しました。

また、今回の研修を通して、行政や議会だけでなく、集落ごとの自主防災組織や消防団の活動、あるいは、各家庭の備えも重要だと感じました。

今後、みやこ町においても、「自助、共助、公助」各々の役割を確認しながら、災害に対して万全の態勢を構築する必要があると、改めて考えを深めました。



被災した益城町の議場

全国過疎問題シンポジウム

2017 in さが

10月19日・20日の2日間で過疎問題シンポジウムに参加しました。

みやこ町でも人口減少や少子高齢化の進展、地域産業の衰退や生活基盤の弱体化、集落消滅の危機など、さまざまな課題に直面しています。何か良案はないかとの思いからです。

各分科会に分かれての視察では、廃校を利用した施設の再生について視察しました。その廃校は児童福祉を目的とした複合施設に生まれ変わり、新たな地域の核になっていました。

みやこ町でもこれから学校施設の統廃合が計画されていますが、参考になると思いました。

【副議長出席】



映像配信の

お知らせ

みやこ町議会では、「開かれた議会」を目指して議会改革調査特別委員会を設置し議会改革を行っています。その一環として、平成29年12月定例会よりインターネットによる映像配信を行っています。

町ホームページにアクセスすればパソコンやスマートフォンからも議会中の様子を見ることが出来ます。

次回、3月定例会の招集日は2月26日の予定です。お気軽にご覧ください。



活動報告

10月から12月までの議会及び議長の活動を報告します。

月 日	件 名
10月 1日(日)	第7回みやこ町老人クラブ連合会福祉大会、みやこ町海外ホームステイ事業報告会
10月 7日(土)	第24回みやこ町陸上競技大会「白川力記念」、町立保育所ふれあい運動会、第21回崎山ひまわり祭り
10月10日(火)	広報特別委員会
10月11日(水)	築城基地追悼式、第26回全国市議会議長会基地協議会九州・沖縄部会総会
10月12日(木)	みやこ町認知症あんしんフェア実行委員会
10月14日(土)	みやこ町観光まちづくり講座、第2回和太鼓フェスティバルinみやこ2017
10月17日(火)	広報特別委員会
10月19日(木)	広報特別委員会
10月21日(土)	みやこ伊良原学園学習フェスタ
10月26日(木)	京築広域市町村圏事務組合議会消防委員会
10月27日(金)	第15回全国環境連全国大会式典
10月29日(日)	第9回伊良とびあ祭
10月31日(火)	筑豊横断道路建設促進期成会中央要望、京築広域市町村圏事務組合議会第2委員会
11月 3日(金)	第6回豊前国府まつり、みやこ町認知症あんしんフェア2017、みやこ町RUN伴2017九州ファイア
11月 5日(日)	第11回文化月間記念発表会
11月 8日(水)	田川郡町村議会議長会研修会、道路関係四団体共催「安全・安心の道づくりを求める大会」
11月10日(金)	町立小学校研究発表会
11月13日(月)	京築広域市町村圏事務組合議会定例会
11月14日(火)	第48回全国過疎地域自立促進連盟定期総会
11月17日(金)	福岡県町村議会広報研修会、町立小学校研究発表
11月18日(土)	第12回みやこ町産業祭
11月20日(月)	地方自治法施行70周年記念式典・記念シンポジウム
11月21日(火)	行橋市・みやこ町清掃施設組合議会定例会
11月22日(水)	町村議会議長全国大会
11月23日(木)	みやこ町凧あげ大会
11月24日(金)	表敬訪問(全国小学生バドミントン選手権大会出場)
11月26日(日)	築城基地航空祭
11月27日(月)	年末年始特別警戒活動出動式、みやこ町スポーツフェスタ実行委員会
11月30日(木)	みやこ町職員人材育成研修発表会
12月 2日(土)	第12回みやこ町人権のつどい
12月 3日(日)	錦町花街道フェスタ2017
12月16日(土)	つばさふれあいコンサート
12月17日(日)	みやこ町ふれあい餅つき大会
12月22日(金)	第3回社会福祉協議会理事会、表敬訪問(九州中学校新人サッカー大会出場)
12月23日(土)	第12回みやこ町愛郷音楽祭
12月26日(火)	京都府議会議長・議会事務局長会議
12月27日(水)	みやこ町認知症あんしんフェア実行委員会



町立保育所ふれあい運動会



みやこ町認知症あんしんフェア



表敬訪問 全国小学生バドミントン選手権大会出場
(若竹クラブ 楠森さん・梅林くん)



表敬訪問 九州中学校新人サッカー大会出場
(犀川中学校)



直 義 野 柿
員 議

A Q 私立保育園の 正規職員の給与は 正規職員の給与に関する 資料はいただいていない

Q 保育所等の職員の待遇改善
他の産業に比べ10万円ほど安いといわれる。正規職員や非正規職員の賃金を示していただきたい。

A 嘱託職員や臨時職員については作成することができず。正規職員については、私立保育園ごとに勤務条件が異なるので検討させていただきます。

Q 待遇改善のために3千万円の補正予算が上がっている。

A クラスの主任及び副主任、園長の役職の手当部分に充てるものである。非正規職員についても賃金改定やキャリアが上がってあれば充てられる。

Q 内部留保等により職員の待遇改善に委託料が使わ

私立保育園(平均)と公立保育園の賃金比較

単位:円

	嘱託職員 月額	臨時職員 1日当たり	パート職員 時間当たり
私立	190,250	7,500	950
公立	187,000	6,800	950

※雇用期間は1年間。
※後日提出された資料より作成。

れないのではないかと。

A 社会福祉法人は黒字を大きく出せないこととなっている。保育園指導監査でも大きな繰越は出ていない。委託料は賃金の上乗せに使われると理解している。

Q 待機児童はどうか。

A 第1希望に入所できない場合はあるが、第2希望または第3希望に入所できている。

教員の長時間労働是正

Q 町の取組状況は。

A (教育長) 新たに、12月28日を学校閉庁日とする町独自の取り組みを実施する。来年度以降は、夏季についても実施することを検討している。

Q 部活顧問の96%に悩みがあると報道されたが。

A (教育長) 授業の準備等で忙しく、思うような指導ができないことや、自身の心身の疲労などによる悩みが考えられる。

Q 過労死ラインの月80時間を超える残業時間について。部活は教育課程か。みやこ町は全員顧問制か。

A (教育長) 教育課程外と考えている。校長として正規の教員には、どこかのクラブに2人体制で入ってもらうようお願いしている。

授業中の事故防止策

Q この議会初日に和解の議案が可決されたが、事故の実態報告を。

A (教育長) ソフトボールの授業中に、教員の助言でバッターに近づいて投げたボールが、打ち返されてピッチャーの目の近くに当たったものである。視野等に問題が出た。

Q 今回の事故は平成26年6月6日に発生しているが、26年5月13日にも体育祭の騎馬戦の練習中に事故が発生している。教育長は聞いているか。

A (教育長) 私は組み体操の練習の時と記憶している。

Q 教育上の事故防止措置が十分ではなかったのでは。3年半かかっている。

A (教育長) 責任は教育委員会にあり、本人と保護者には申し訳ないと考えている。

Q

施設廃止後の跡地等が 負の財産とならないよう対策を

A

様々な視点で検討する



明 公 員
山 浦 議

Q 公共施設再編計画で廃止予定または現在利用していない土地や建物等の維持管理費等について問う。

A 公共施設再配置(案)で計画している廃止予定施設の年間に要する維持管理費は、約1億2千万円である。また、事業の残地や普通財産となった施設の草刈り等の管理費は、年間約100万円である。

Q 再編後の宮原グラウンドの企業誘致や町有地の空き地の分譲計画について問う。

A 宮原グラウンドは、機能を犀川運動公園に集約し廃止する。敷地面積も広いことから、企業誘致や宅地販売としての利用も十分考え

られる。その他の公共施設も様々な視点で検討する。

Q 現在ある公共施設について統廃合しても1年・2年では解消できない。長引くほど財政を圧迫するが、どう対応し乗り越えるのか。

A 公共施設の再配置案を示した。同じ目的を持った施設を統廃合するなど積極的に進めていく。

Q 各地にある児童公園は、地元は無償譲渡することや、未使用地は条件付きで有償譲渡するなど、負の財産とならぬよう、有効活用を考へてはいかがか。

A 児童公園の管理は地元にお願している。今後については、継続や廃止の要望があるので地元と協議していく。

Q 三島団地の建替え計画があるとのことだが、全体を撤去するには長い年数を要する。既に更地となっている所は、分譲してはどうか。

A 長寿命化計画の中で、建設か宅地分譲か、早急に検討したい。

Q 旧町時代には必要として建設した施設だが、30年以上経過した。建設時は想定していなかった市町村合併により同類施設ができ財政を圧迫している。再編計画でできた遊休地を企業や個人に格安で分譲し、一人でも多く居住していただく。町の活気や活力は人口増しか考えられないが、いかがか。

A 行財政改革を進め、厳しい難局を乗り越えなければならぬ。不便な面もあると思うが次世代の人たちにみやこ町を残していくことが、我々の責任であると考えている。

Q 機構改革をして1年目であるが、成果や効果、町民の利便性はいかがか。

A 職員間の連携や意思決定が図りやすくなった。特に事務の一元化に伴う職員

の集約的配置により効率的な処理ができた。一方で町民からは、課名の変更等で「戸惑った」との指摘も受けたが、職員内で連携を図り一丸となり町民の利便性の向上に努めたいと考えている。

《その他の質問や意見》

区長会から、議員定数削減の要望書が出されている。我々も民意に因應するため、早急に定数削減を示すべきだ。



三島団地内の未使用地



飯本 秀夫
議員

Q

防災体制を問う

A

組織の再編及び適正備蓄に
取り組む

Q 自主防災組織は、平日頃の防災活動、或いは災害が発生した場合、速やかに対処できる組織の編成が求められるが、行政区割の組織では、第一の目的である初期作業と、共助活動が全く働かない組織もあると考えるが、いかがか。

A 災害が発生した場合は、まず自助・共助が基本であ

り、行政が行う作業として、最も重要なこととして、地域全体のライフラインの確保を考えているので、組織の構築については、区長会で検討するとともに共助の啓発を行う。

Q 災害は未然に防ぐ事が一番望ましく、災害時には速やかな避難が必要だが、本町は谷が深く、谷の往来

が困難であり、災害時の孤立が予想されるが対策を問う。

A 危険箇所或いは、袋小路的な集落は把握している。

また、備蓄品については、庁舎に幾分保管しているが、今後は個人的にも飲料水等の備蓄を促すとともに、区長等にもお願いする。

防衛基地対策

Q 自衛隊航空機の騒音対策基準の線引きは、固定したものと認識しているが、同一集落内で町道を挟んで補助内容が異なることに不公平感を拭えない。

必要と認められる家屋については、町単独事業として一部助成等の救済措置はとれないものか問う。

A 困難な面もあるが、何が出来て、何に取り組みめるのか模索する。

Q ミサイル基地周辺の避難場所の確保並びに危機管理を問う。

A 指摘のように、当面は既存施設（高速道路高架下等）の利用を考え、危機管理について地域と協議を行う。

農業政策

Q 平成30年度からの農業施策は、地域行政の意向を反映する事が可能と聞いているが、いかがか。

A 米の直接支払いは、無くなったが、他の交付内容は昨年同様である。

Q 荒廃農地の洗出しが進んでいるが、再利用等の対策、並びに取組状況について問う。

A 耕作可能な農地は、地域の農業者に受委託の斡旋を行う。

管理休耕制度の復活については関係機関とも相談、検討する。

荒廃農地の課税については、現況を重視した課税となる。



高速道路 高架下の道路

Q

確かな学力の 向上育成について

A

教職員の指導力向上に努める



田中勝馬
議員

Q 学校現場におけるICT（情報通信技術）教育の推進について、支援員を配置しているが、支援員配置の成果と今日まで取り組んできた中で見えてきた課題について問う。

A（教育長） 支援員は教師の情報通信機器活用の支援、サポートを行う業務を担っており、教育活動の充実に不可欠である。

課題としては、全ての教室でICTが利用できる教室環境の整備である。

Q 小中学校連携教育の取り組みと、その成果と効果について問う。

A（教育長） 小中の教職員の交流が進み、小中学校9

Q キャリア教育の充実について、キャリア教育に対する認識と取り組み状況について問う。

A（教育長） 農業体験などの勤労体験的な活動だけを示すものではなく、各教科の学習、総合的な学習の時間、特別活動など全教科領域を通して、社会的な自立・職業的な自立にむけた教育活動に取り組んでいる。

Q 英語教育の充実について、毎年英語発表会を実施しているが、成果と課題について問う。

A（教育長） 小学生から英語教育に取り組んでいる成果として、中学生の英語スピーチ大会の充実がある。

年間で児童生徒を育てるという教職員の意識化が図られた。

小中学校の文化の違いなどによる段差を小さくし、出前授業や合同授業の拡大など児童生徒の交流も盛んになった。

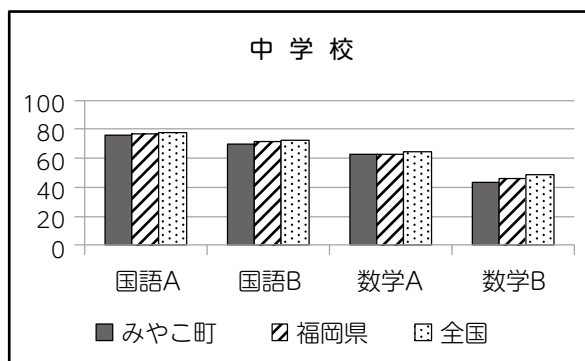
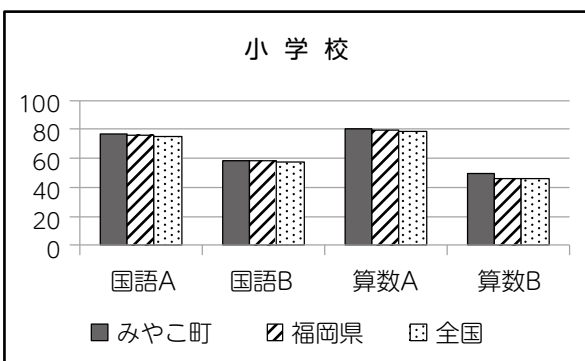
Q 小中学校の学力について、全国小学校6年生・中学校3年生の学力テストが行われたが、みやこ町の生徒は、どの程度の位置にあるのか。

A（教育長） みやこ町の6年生は、全国や県を少し上回っている。中学校3年生は、全国や県を下回っている。しかし、改善傾向にある。全国や県に近づいている。

Q 今後、更に学力向上を目指すための取り組みについて問う。

A（教育長） 先生方の授業が充実・向上しなければいけない。対策として指導主事が特に若手の先生方を中心にして、授業を見に行き、その場で授業の指導をするという取り組みを繰り返し行っている。今後とも、若い先生方を中心に、授業改

昨年からは課題部門、自作部門の2部門で実施し、発音のレベルは以前に増して成果を上げている。



善についての指導を徹底して学力向上を目指す。



柿野正喜 議員

和解金100万円 町長は謝罪したのか 接触していない 教育委員会の問題だ

Q 平成26年6月6日に発生した中学校のソフトボール授業で、ピッチャーをしていた生徒の側頭部右目近くに打ち返されたボールが当たり負傷した。平成28年11月11日に保護者より損害賠償金を請求され100万円を支払うことで和解したが、問題点をどう分析しているか。

A (教育長) 教員が指導、配慮を怠ったことが原因と認識している。事故発生後は、授業のみならず学校行事なども児童、生徒の安全確保を第一として指導の工夫をするように校長会等を通じ再発防止に努めている。
Q これに関する和解案が出され、その質疑で謝罪されたかどうか求めた際、町

長は「接触していない。教育委員会の問題である。」との答弁であった。

平成27年4月1日に地方教育行政組織及び運営に関する法律の一部が改正され、すべての地方公共団体に総合教育会議の設置が義務づけられた。その会議は、市町村長が招集することと明記されている。この法改正を町長は、どう捉えているか。

A 町長の責任が重くなったと思った。
Q 法が改正されてから要綱はつくっているか。

A 実施要綱類は後で提示したい。(翌日の本会議で要綱はつくっていない旨訂正あり)

Q この事案が総合教育会議の中で諮っていないのは非常に重たいものだと思っ
ているが、要綱は何条から成り立っているか。大体で結構。

A そんな細かいところまで記憶にない。

在宅家族介護給付

Q 介護保険制度が発足して17年が経過したが国は、施設での介護より自宅での介護を進めている。在宅家族介護には物心両面に苦勞があるという。認知症になっても安心、安全に住めるまちづくりにも家族介護者への負担軽減策を充実させるべきではないか。

A 現在第7期の介護保険事業計画及び高齢者福祉計画で見直しを予定している。



在宅で介護する家族

約1億円の使途不明金

Q 平成27年6月に発覚した京築広域圏消防本部の約1億円の使途不明金事件解明の現況と、その責任を誰がどのようにとるのか。

A 経理事務担当であった元職員は刑事告訴され、平成28年9月に懲役2年の実刑判決を受けている。また、損害賠償事件として訴えの提起を平成29年3月に行い係争中である。

Q 消防本部職員は3名が減給等懲戒処分されているが、管理者である町長らは責任をとっていないが、どうするのか。

A 現在、私が管理者で、その問題に対処しているのか理事会で話し合っている。

Q

残そう郷土の歴史資源・育もう郷土の誇りを子どもたちに

A

文化財保護委員会等と協議し検討していく



吉竹 次男
議長

Q 京都慈照寺銀閣寺と縁の深い花元夢雙眞古流宗家木村家の墓、江戸時代の私塾厳邑堂の創始者藤本平山の墓の整備を。

A (教育長) いずれも指定文化財ではなく、現時点において公的な整備をする対象ではない。しかし、一般の文化遺産の中でも特色ある存在として説明板の設置を行っているものもある。今後、文化財保護委員会等と協議し支援について検討していきたい。

Q 町の史跡文化財をまとめた小学校社会科副読本を作成したらどうか。

A (教育長) 平成27年度に小学生を対象にした「みや

こ町歴史たんけんマップ」を作成し、社会科や総合的な学習の時間における郷土学習に活用している。

学校現場の多忙化解消

Q 学校現場の多忙化の実態把握はなされているか。

A (教育長) 今年10月から11月にかけて町内すべての学校で勤務実態調査を行った。小学校では校長・教頭・主幹や経験年数が短い教員の勤務時間が長く、中学校では多くの教員が1日当たり、1時間半から2時間半程度、勤務時間を超えて業務している。今後示される答申等を注視し、国や県の施策も参考にして教員が誇りや情熱をもって使命と職責を遂行できるよう環境づくりに努める。

Q スポーツ庁の調査で部活動担当職員の96%が「悩み」を抱えているとのこと、本町中学校の実態は。

A (教育長) 当町独自の調

査は行っていない。部活動において技術指導のできる外部指導者の活用や遠征時の交通手段にスクールバスを活用するなど、出来ることから部活動に携わる教員負担軽減に努めている。

国際交流

Q 町内在住の外国人数を問う。

A 平成29年10月現在、128名の外国人が住んでいる。そのうち、約6割が外国人研修生として企業等に雇用されている。

Q 海外の研修生や労働者の受け入れ態勢は。

A 出身国で研修を受けた方の中から、受け入れる企業が現地で面接等を行い研修生として決定している。町としては、空き家バンク事業を法人にも利用できるようにし、研修員の



こだま荘での国際交流会

住居面において支援を行っている。

Q 生活上の支援をどう考えているか。

A 雇用する企業において生活上の支援を行っている。町は、各企業を通じて有効な情報提供を行っている。また、みやこ町国際交流協会と連携して、交流会などを実施し、生活上の支援体制の環境整備に努めている。



中山 茂樹
議員

統廃合後の犀川地区3小学校 跡地利用の計画を問う

A 民間活用や宅地造成等 施設の有効活用を検討する

Q 犀川地区小学校の統廃

合計画は、平成32年開校を
目指し進められているが、
残る城井・上高屋・柳瀬の
3小学校の跡地利用計画を
問う。

A 学校の跡地利用につい
ては、有効利用されるよう、
まちづくりと連動した公共
サービスの提供、地域特性
に配慮し、民間活用や宅地

造成、企業誘致など学校施
設の有効活用を検討したい。

防犯対策

Q 防犯対策で町内の主要
道路に、防犯カメラを設置
してはどうか。

A 町としては、主要道路
上に防犯カメラを設置する
予定はないが、公共施設等
については、設置の必要性

が生じた時点で検討したい。

Q 冬の今時期は、日が暮
れるのが早く夜は危険であ
る。小・中・高校生の通学
や住民の通勤等、安全のた
めに防犯灯の増設はできな
いか。

A 主要道路には約150
メートルに1基設置してい
る。特別な事情がある場合
は、区長と協議し必要に応
じ設置している。

また、街灯周辺が樹木で
覆われ効果的な明るさが確
保できない所は、樹木その
ものの伐採を地権者にお願
いしている。場合によって
は、町が地権者の同意を得
て、照明部分に係る枝の一
部を伐採し明るさの確保に
努めている。



樹木に覆われた街灯

国道496号線の整備

Q 観光と農林業振興のた
めに道路整備は不可欠であ
る。国道496号線の豊津、
錦町商店街付近と犀川伊良
原、帆柱地区の整備拡充を
尋ねる。

A 豊津地区においては、
平成29年度に道路概略設計
を作成し、29年9月に地元
説明会を行った。上伊良原
地区は用地交渉をしている
と聞いている。野峠のトン
ネルについては、国土交通
省に要望している。

伊良原ダム完成後の振興計
画

Q ダム完成のイベント計
画を尋ねる。

A 平成30年3月18日(日)
は、ダム湖周辺のウォーキ
ングやステージイベント、
伊良原米を主体としたフー
ドフェスティバルを実施す
る予定である。交流人口の
増加を図りたい。

Q 伊良原、帆柱地区活性
化のために、帆柱のこだま
荘に風呂施設を作り、伊良
原コミュニティセンターを
有効活用のために、企業等
の運動クラブが合宿に利用
できるようにしてはどうか。

A 指摘のあった形で、今
後検討する余地はある。

Q

公共施設で期限切れの 消火器が設置されていたが 管理できているのか

A

今後このようなことのないよう対応する



橋本真助
議員

公共施設の安全管理について

Q 公共施設の管理及び点検はどう行っているのか。管理内容、点検管理はきちんとなされているのか。

A 施設管理をしているそれぞれの課が適正に管理して安全確保している。火災被害を防止するために防火管理者を選任し、消防用設備の維持管理に努めている。点検については1年に2回委託業者に発注して実施し不備があれば報告書により管理者に報告している。不備があるとの報告を受けたらその箇所器具について改善するとともに安全確保に努めている。

Q 委託の契約内容、施設箇所について詳細を求める。

A 69箇所の公共施設を競争入札で一括発注している。契約内容は1年に2回点検をして不備があれば改善するという内容である。事務の効率化を図るため一括発注している。

Q 祓郷小学校において消火器の期限切れが発覚したが管理されていなかったのではないか。

A (教育長) 耐用年数が2年以上切れていた。指摘後、他の学校を含め期限切れをすべて交換した。

Q 万が一火災が発生した場合、本来の消火器の効果を発揮できず被害があればどう対応していたのか。

A 効果を発揮せず燃え広がる可能性はあったと感じている。責任を感じている。

Q 祓郷小学校以外にも該当する期限切れ消火器が設置されていた場所があったのか。

A 20箇所ほど、不備があった。

Q 今後きちんと対応すること。また関係各位にきちんと報告し、改善をお願いする。

A 早急に対応して今後このようなことのないよう対応する。



公共施設に設置している消火器



中尾昌廣
議員

中山間地域の対策を問う

企業誘致や定住促進対策など積極的に実施する

Q 福岡県の中山間地域は県面積の5割であり、みやこ町は7割を超える地域である。中山間地域は、水源の涵養、洪水の防止、土壌の浸食や崩壊の防止など多目的機能によって、国民の生命と財産、豊かな暮らしを守る重要な地域である。今現在、地域で生活や山林田畑を守っている人達が超

高齢化し、継承者もなく、山間集落が現実的に危機的状況である。また、地域を担っている人達は団塊世代であり、あと5年もすれば75歳を迎える。我が国の伝統文化である神社仏閣の祭典や地域の様々な行事が継承出来ないとの声が出てくる。消滅する集落が出てもおかしくない状況である。

Q 国の政策も後手に回っている。地方は地方で頑張るしかない。どのような考えか。
A 企業誘致や定住促進対策など積極的に実施する。
Q 集落支援員が出来て久しいが成果はいかに。
A 地域のアドバイザー、コーディネーター役として大きな成果があった。
Q 学校教育について
A 学校再編に伴い郷土の歴史文化が消えていく。対策はいかに。
Q 城井小、祓郷小は、和太鼓など通じて郷土の歴史や文化を継承し10数年間、各学校の伝統行事となっているが統廃合すれば消え去るが、考えは。
A (教育長) 来年度中に統合校の教育活動、教育課程の編成を考えている。
Q 部活動の指導について教職員の大きな負担増となり、大きな問題となっている。みやこ町はいかに。

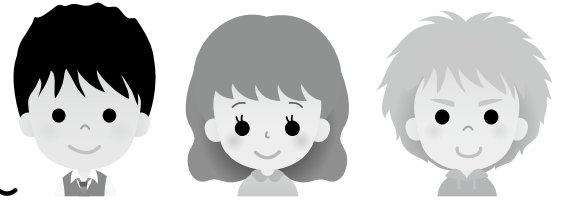
A (教育長) 外部指導者を17名雇用し、主に技術的指導を行って職員の支援に努めている。今後は、部活動指導員の配置の可能性についても検討する。

Q 観光行政について
A 観光まちづくり課が出来たが成果はいかに。合併して10年が過ぎたが、言い続けてきた、みやこ町の名勝の看板はいかに。
A 基本デザインの作成が完了した。計画的に効果的な配置を全町的に行う。



役場本庁に設置している観光案内板

える子どもたち!



城井小学校・節丸小学校の児童が議会を傍聴～

柳瀬小学校・城井小学校・節丸小学校の6年生の子どもたちが傍聴に来ました。子どもご紹介いたします。

☆保育所の職場改善についてや、教員の長時間労働の改善についての質問をしていました。質問に答える側は、すぐに回答していたのすごいいました。提案したことなどは、議会を開いて、みんなで話し合っ決めていくことが大切だと思いました。

☆小学6年生のケイタイの所持者が60%を超えていると知ってびっくりしました。また、議会での話し合いの仕方と具体的に質問をしているところに感動しました。全校で話し合うときなどの司会・進行や発表の仕方を学べてよかったです。

☆学校生活に関する教育の仕方、問題などの意見を出し合い物事が先へ進んでいました。また、問題になっている事を取り上げ、それについて話し合い、改善策や解決法を考えていました。このように、私たちがより良いみやこ町で、より良い暮らしができるようにと話し合っ改善していくのだと知りました。

☆議員さんが学校の教育について聞くと教育長さんが「生きる力を育むことが大切だ。」と話しました。その後、みやこ町の学力について聞くと、小学生は全国や県を少し上回っていて中学生は少し下回っているということを知ってびっくりしました。それで、最近メソッドタイムの取り組みを行っていると言っていました。議会を傍聴してたくさん問題があることを知りました。そして、問題を改善するために自分たちが何をすればいいか考え、しっかり取り組むことが大切だと思いました。

☆おどろいたのは、議会には、議員さんだけではなく、町長さんや、いろいろな役職の人たちも参加しているということです。みなさん真剣に話し合っていたので、すごいいました。



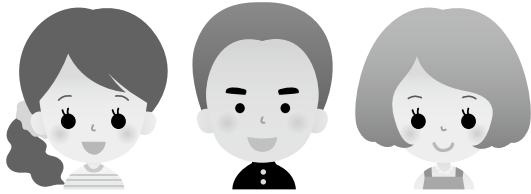
上高屋小学校6年生 議長室にて



柳瀬・城井小学校6年生 議長室にて



節丸小学校6年生 議長室にて



地域の将来を考

～犀川小学校・上高屋小学校・柳瀬小学校～

12月1日から15日までの会期で開催された12月定例会に犀川小学校・上高屋小学校・
たちの目に議会はどのように映ったのでしょうか。感想文を頂きましたので、少しですが、

☆伊良原ダムのことをはじめ、いろいろな町の問題について議員さんが質問しているところでは、質問に答える人が、「自分が答えます」と手を挙げているところに、おどろきました。それについて知っている役場の人答えるんだと分かりました。議場は教科書にのっていた区議会の議場と似ていて、すごいいいと思いました。

☆言っていることが難しくあまり分からなかったけど伊良原ダムのことだけ分かりました。でもあまり、こんな機会がないので貴重な体験でした。設備が良くて映画館のイスみたいでした。また、このような機会があったら行きたいです。

☆話し合いの様子を見ると、議員が質問をして、みやこ町役場の人たちが質問に答えて、議長さんが話し合いを進めていることが分かりました。議場はとてもおちつき、話しやすい場と思いました。

☆みんながみやこ町をもっと豊かにしようと真剣に話していました。ほくはそんな議員さんたちがかっこいいと思いました。中には町長や副町長なども出席していて町長は、とてもいそがしいんだなと思いました。



犀川小学校6年生 議長室にて

傍聴に来てくれて
ありがとう!
また、勉強に来てね☆



議会傍聴のご案内

住所・氏名を記入するだけで、どなたでも傍聴することができます。議員の生の声や表情を議場で見学してみませんか。

次回、3月定例会の招集日は、2月26日の予定です。詳細については、決定次第、ホームページや防災無線等でお知らせします。

なお、12月定例会の傍聴者は65名でした。

※本会議は、本庁及び各支所ロビーに設置しているテレビで中継しています。また、町ホームページでも平成29年12月定例会よりインターネットによる映像配信を行っています。お気軽にご覧ください。



がんばりつちよる

みやこ町文化協会

前々回の「議会だより」でみやこ町文化協会の概要について説明しましたが、今回はみやこ町のイベント等で会員が実際に活動した実績について紹介します。

みやこ町文化協会の対外活動は、みやこ町が主催するイベントに参加する町協働事業や、文化協会が主催する発



敬老会

表会の主催・主管事業の他、施設等の慰問を行う活動を行っています。まず、みやこ町が主催するイベントへの協力参加について紹介します。

6月10日(土)・11日(日)に豊津花菖蒲公園にて開催された「花しょうぶまつり」に参加しました。展示部門について、10・11日の両日、生花及び俳句の展示を行い、11日には野点も行いました。また、芸能部門においては、11日の午後からステージイベントに16教室、約100名の会員が参加し、花しょうぶまつりに花を添えました。



豊前国府まつり

8月19日(土)にサングレートみやこにて開催された「夏まつり」に参加しました。18日(金)の前夜祭では、縁日広場で露店の手伝いを行い、19日の「町民総踊り」に20教室、約90名の会員が参加しました。

9月23日(土祝)に犀川体育館で開催された「敬老会」のアトラクションに4教室、約50名の会員が参加しました。11月3日(金祝)に豊前国府跡公園で開催された「豊前国府まつり」のステージイベントに6教室、約70名の会員が参加しました。

なお、文化協会主催で開催する各工リアの発表会への参加等の活動状況については、次回紹介したいと思います。

連絡先

みやこ町文化協会 事務局
野口 明
TEL 0930-3314666
みやこ町歴史民俗博物館内
(教育委員会生涯学習課文化係)

編集後記

寒中お見舞い申し上げます。昨年7月には、九州北部豪雨があり、2年続きで大きな自然災害に見舞われました。

世界に目を向けますと、国連決議に反し北朝鮮による度重なるミサイル発射実験があり、日本はもちろん世界に緊張が走りました。

暗いニュースが多い中、国内はといえば、衆議院選挙で自公連立政権の圧勝により、経済面では株価が上昇し、景気回復の兆しが見えてきました。

社会面では、約200年ぶりとなる天皇陛下の退位が、平成31年4月と決定しました。このような重大なニュースもありました。

今年も、大きな自然災害が起こらない年であって欲しいと願っています。

中山 茂樹



議会広報特別委員会

- | | |
|-------|-------|
| 委員長 | 田中勝馬 |
| 副委員長 | 柿野正喜 |
| 委員 | 肥喜里雄二 |
| 委員 | 吉竹次男 |
| 委員 | 中山茂樹 |
| 委員 | 飯本秀夫 |
| 発行責任者 | 熊谷みえ子 |